

# ご挨拶

令和五年七月

曹洞宗 奕葉山 昌伝庵

そうとうしゅう えきようざん しやうでん あん

住職 今成 幸裕

副住職 今成 健二

## 檀信徒総会を終えて

六月四日（日）午後二時から、檀信徒総会を開催しました。

以前は、総会は毎年行っておりましたが、出席者は総代と毎年常連の数名の方だけで、十数名の出席で行われており、他の方は委任状提出でありました。これでは総会の意味があまり無いという事で、平成五年度からは予算決算書を全檀家に送付することにして総会はしない事となりました。何か大きな事がある場合を除いて、普段は護持会運営は総代会に全てを委ねることになったのです。

その後、檀家総会が開かれたのは十三年前の平成二十二年二月で、前任職が亡くなり百か日に合わせて開催しました。本葬儀並びに新任職の就任式（晋山式）についての議題で行わせて頂きました。

この時には、大変急だったのですが、護持会費の五年分を浄財勸募金として頂き、儀式並びに本堂と廊下の床の補強や畳替え、隣接地の購入と整備をさせて頂

き、境内地も見事に広く整備されました。

そして今回の総会では、庫裡（茶の間・台所・住職の住む部屋等）は戦前の建築で築八十年の老朽化、及び使用している地下水の濁りも発生したことから、建て替えを検討することにしました。

本堂はあと百年〜二百年は持つとしても、水道管敷設と庫裡はこの際新たにしたい方がいいとの考えに、参加者全員よりご賛同を頂き、護持会費の六年分を寄付金として勸募することを決めました。

この金額はお願いの目安として御提示させて頂くものであり、生活を犠牲にしなくてもお願いするものではありません。この金額が集まれば建設への目途が付きます。これより多くても少なくても結構です。是非善意での御喜捨をお願い致します。なお、総会で配布した建設案は寄付のお願い状と共に後日郵送申し上げます。

裏面に檀家総会での概要を掲載してありますので、ご覧ください。



6月4日（日）午後2時 檀家総会の様子

### 今年の本山研修会は ありません。

例年、置賜地方管轄の宗務所主催で行っております本山参拝旅行は、今年は総持寺の予定でしたが来年行われる大法要の準備の為参拝することができません。

つきましては今年中止となり、来年度横浜の総持寺での研修会開催となります。

# 檀家総会（6月4日(日)）のご報告

案内総数 271 名；出席 31 名(12%)、委任状提出 172 名(63%)、未提出 68 名(25%)

住職挨拶；以前は毎年開催していた檀家総会だが、護持会運営は総代会に委任することにした経過がある。

今回の総会はせっかくの機会なので、庫裡建設の話だけでなくその他様々なご意見を頂戴したい。

総代表表：（急用の為に遅参するので、割愛した。）

**議事**（議長を役員にお願いして進めた）

参…参加者、答…回答

## 1 庫裡の建設について

趣旨説明（役員から説明。）内容は老朽化や地下水の濁り等、寺報や総会案内でしてある通りの話。

参；前回の寄付勧募の際に（前住職本葬時）土地を購入し整地したとあるが、本来の優先順位ならば、その時に庫裡の建設をするべきではなかったのか？ 利用目的のない土地購入等にお金を使う必要はあったのか？

答；（住職）その時は、庫裡よりも本堂床の補強、隣接地の購入と整備が喫緊の課題であった。今は大行事等での駐車場になっている。また、北側の土地は墓地に申請して許可を得、今では新しい墓が十数墓建っている。

議長；庫裡の建設に賛成か反対か、多数決をとります。

（全員が賛成した。1人反対の方がいたが、耳がよく聞こえなかったので勘違いして挙手したとのこと。）

参；寄付金額はいくらにするのか。前回は護持会費を基にその5年分であったが、全戸一律同額の考えもある。

参；全戸一律だと負担が大きい家も出てくるので、やはり護持会費をもとにしてお願いする方が良い。

参；建設には一体いくらかかるのか？ 予算案はあるのか？ また寄付勧募についての案はあるのか？

答；それでは総代会での案を示させていただきます。（予算等の案を配布した。この資料は後日全戸にお送りします）

これは、檀家の方に設計士の方がいらっしゃったので、現状を基にして設計して頂きたたき台として作成したものである。（この時の建設案の資料は後日お願い状と共にお送りしますので、それをご覧ください。）

ここから算出して、この度は護持会費の6年分としてお願いしたい。一括納入でも分割納入でもいいので。

なお、もし10年分のご寄付を頂けるのならば、借金はせずにこれで完済することが出来るのですが…。

議長；この案についてはいかがでしょうか。

（10年分という案には挙手が無く、6年分を一括または分割にて寄付をすることに賛成となった。）

参；私は年金生活者であり大変なのだが。 答；どうか無理をせず、できる範囲で結構ですのでお願いします。

## 2 その他

住職；本堂は築100年だが、あと100～200年は持たせたいものである。火事や地震で倒壊しない限り大丈夫と思う。時々位牌堂のロウソクの火の消し忘れがあったりするので、管理上各家の位牌棚の火器使用は廃止し中央の線香立て1つだけでお参りしてほしいと提案したことがあった。（東日本大震災の頃）

すぐに賛同して片付けて下さった方もいらっしゃったが、ほとんどはそのままである。消し忘れが怖いので短い蠟燭を置いたりしているが、火気の問題については真剣に考えて欲しいものである。本山も各住職の位牌だけが整然と並んでおり、中央の香炉1つに線香を立てる。寺も学校等と同じく公共的なもので、自分の場所だという個人的な考えは捨てて、他の仏具等もお持ち帰り下さり、位牌だけにして頂きたい。

また、<sup>ほちかんりりょう</sup>墓地管理料を頂いているが、これは墓地全体を管理する為のものであり、各家の墓所は各自で管理するものです。ただ草が伸び種が飛び散るとそれが墓地全体に広まるので、気付いた時には各家墓所まで草を取っています。草むしりゴミ捨て等の墓地管理は住職家族でしているが、住職も2年前に腰の手術をしたり膝の関節症で正座もできなくなっている状態で、草むしりも苦痛になってきています。時給1000円位で、どなたか草むしりを一緒に手伝ってくださる方がいれば歓迎しますので、ご紹介ください。